

しょうのだより

鈴鹿市立庄野小学校通信

No. 10

令和4年 9月 9日

📖 バケツ稲の刈り取りを行いました (5年生) 📖



9月5日(月)、庄野地区まちづくり協議会農業部の皆様に来ていただき、バケツ稲の刈り取りと脱穀を行いました。稲架掛けの方法も教えていただきました。なかなか刈り取れず四苦八苦しながら頑張ってお刈り取りました。脱穀も、米粒を残さないように気を付けて、茎からしごき取っていました。この後、乾燥・精米をしていただく予定です。

※稲架掛け(はさかけ)…束ねた稲を棒などに架けて、2週間ほど天日と風などによって自然乾燥させること。これでさらに美味しくなるそうです。



〈児童の感想から〉

- ・地域の人たちが言っていたように、稲を育てるには、水の管理が大切でそれをちゃんとやっていないとだめなんだと分かった。今回、教えてくれた地域の人にはたくさん米に関しての知識を持っていてすごいと思った。
- ・育ててみて感じたことは、今はたくさんを機械を使っているのに、全てが手作業だとどんなに大変な思いをしたかがよく分かった。
- ・稲を刈るのは思った以上に力を使って大変だった。脱穀はキリがないくらい大変だったので、昔の人はすごく大変な思いをしたのかもしれないと思った。



- ・最初は3~5cmの小さな苗だったけど、9月の初めには、ものすごく大きくなっていたので、とてもびっくりした。稲を育てる中で昔の人はどんなふう育てていたかを聞いた時に、細かい作業を何十時間もかけてしていたことから、ちゃんと米を作ってくださった人々に感謝しようと思った。
- ・水の管理をバケツでも毎日するのは大変だったのに、普通はもっと広い田んぼでやっているのすごいと思った。
- ・稲の刈り取りは切るのが難しかった。とても硬くて切るのに時

間がかかった。地域の方は、時間を作って教えてくれて、とても感謝している。



調理室の大きな釜

給食が始まりました

9月5日（月）から、給食が再開されました。夏休み中に本校の給食室の改修工事が終わり、LED 照明の明るくきれいな給食室となりました。初回の給食メニューは、「ご飯・牛乳・ヒートレスカレー・ももゼリー」でした。

以下は、放送委員が給食時に読んだ「給食室からのお便り」です。

皆さん、9月1日は、何の日か知っていますか。

9月1日は「防災の日」です。今から99年前の1923年9月1日に関東大震災が発生したこと由来します。そして、この日を含む8月30日から1週間は「防災週間」です。防災週間は、地震や台風などの災害をよく知り、災害に備えるための1週間です。

今日は鈴鹿市の幼稚園と小学校で、防災給食として非常食を食べます。いつも皆さんが給食で食べているご飯は、給食室とは別の場所で業者さんが炊いていますが、今日は、調理員さんたちが、災害に備えて普段はおかずを作っている大きな釜でご飯を炊くという、炊飯訓練を行いました。カレーは温めなくてもおいしく食べられるように開発されたカレーです。災害の時は電気やガスが止まってしまう、いつものように食事を作れなくなることも考えられます。

お家でも地震や台風などの災害が起こった時の非常食と飲み物、避難場所について話し合っ、備えておきましょう。



シルバー橋近くの交差点塗装の完成

9月5日（月）、以前から危険であると指摘されていたシルバー橋付近の交差点に、学校運営協議会等の皆様のご尽力により、赤い塗装をしていただきました。前号でお知らせした子ども議会でも取り上げた場所です。交差点であるとはっきりわかるため、児童の交差点を渡っているという意識向上や走行する車両への周知が成されると思われます。

ありがとうございました。



児童の皆さん！

道路をわたるときは、左右のかくにんをして、手をあげてわたしましょう。